

門司港地域複合公共施設整備事業の今後の進め方について（報告）

門司港地域複合公共施設整備事業に係る市民説明の状況、及び複合公共施設整備予定地での旧門司駅舎跡関連遺構の記録保存のための追加の発掘調査、これら事項を踏まえた門司港地域複合公共施設整備事業の今後の進め方について報告するもの。

1 市民説明の状況について

方式・ツール	開催状況
門司区 校区自治連合会	4月25日から、建設予定地に近い校区から順次開催中 (2校区で説明済)
施設利用団体等	5月13日から、施設利用団体やまちづくり団体等に対し て開催中(2団体に説明済)
門司区 自治総連合会	6月5日に開催予定
市民向け 事業説明会	5月下旬～6月上旬に開催予定
市ホームページ	広く市民に周知するための情報を掲載(5月13日～)

2 遺構の追加発掘調査及び記録保存について

【試掘調査の結果】

(1) 実施期間： 令和6年4月26日(金)～5月1日(水)

(2) 調査箇所： 10箇所(トレンチ)…別紙参照

(3) 調査箇所(トレンチ)設定の考え方：

明治時代の門司駅構内図に基づき、駅舎関連建造物が想定される範囲を中心に、試掘調査箇所を設定。

(4) 結果： トレンチ2、3、4で枕木および線路状遺構(黒色の砂利)を、また、トレンチ7、9で煉瓦状遺構を確認したため、発掘調査が必要と判断。

【発掘調査の実施について】

(1) 調査範囲の考え方：

試掘調査の結果、駅舎関連建造物の遺構と思われるものを確認した範囲(上記、トレンチ2、3、4、7、9)及び、前回発掘調査結果から遺構の延長が想定される箇所。

(2) 調査を要する範囲： 770㎡…**別紙**参照

(3) 調査費： 30百万円程度

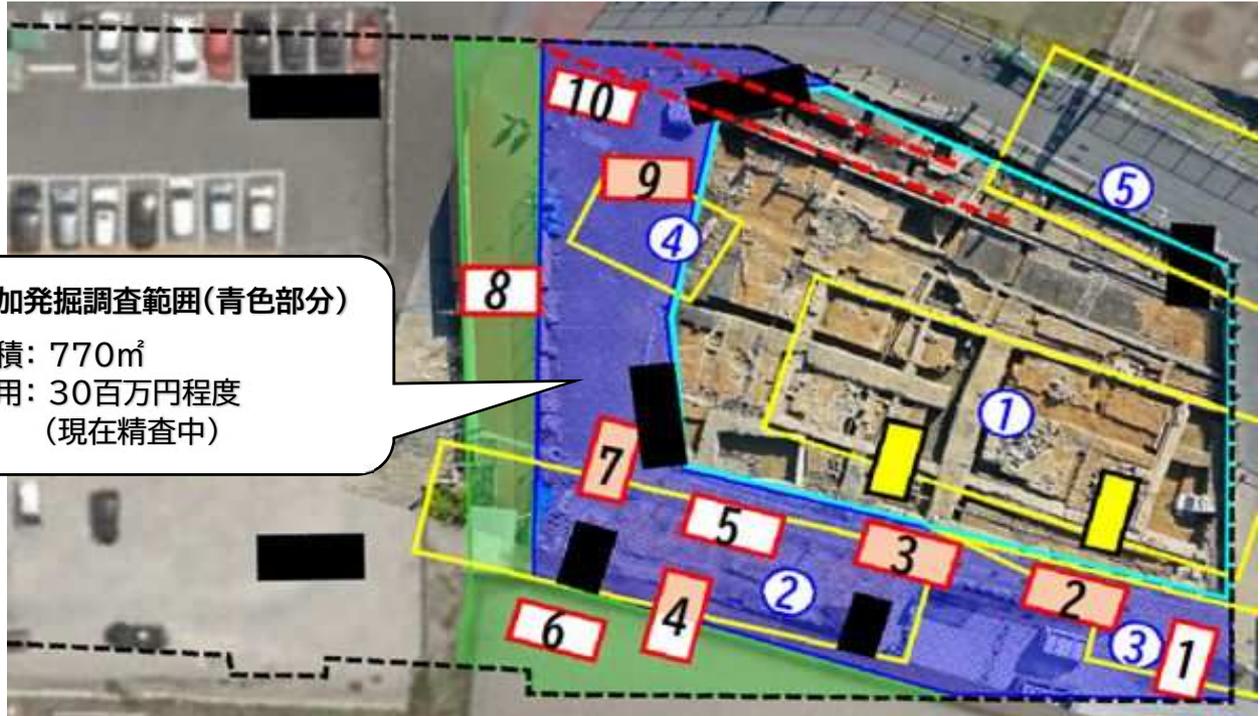
(令和6年6月議会への補正予算提出に向け精査中)

3 今後のスケジュールについて

今後、所要の補正予算が決定され、上記の追加の発掘調査及び記録保存が行われ、順調に工事が進めば、予定される令和9年度中の竣工が可能となる。

令和6年6月議会	追加発掘調査・複合公共施設整備費等の補正予算案を提出
令和6年7月～	追加発掘調査・記録保存に着手
令和6年度中	複合公共施設の建設工事に着手
令和9年度中	複合公共施設の竣工

令和6年度追加試掘調査箇所配置図・発掘調査範囲設定図



追加発掘調査範囲(青色部分)
 面積: 770㎡
 費用: 30百万円程度
 (現在精査中)

【旧門司駅舎跡関連遺構の調査】		【既往文献による建物想定位置】	
トレンチ 遺構あり	既発掘調査範囲	① 機関車庫	
トレンチ 遺構なし	試掘範囲【要調査: 770㎡】	② 荷おろし場	
トレンチ 遺構あり (R5年度)	試掘範囲	③ 貨物ホーム	
トレンチ 遺構なし (R5年度)	遺構の延長が想定される範囲	④ 門司駅舎拡張建物	
		⑤ 客車庫	



2トレンチ



4トレンチ



7トレンチ



9トレンチ